

興南BIC男子延長制しV

ハンドボール県一般選手権

ハンドボールの第55回県一般選手権最終日は16日、具志頭社会体育館で各部の決勝が行われ、男子1部は、興南BICが丸松建設との延長戦を36-34で制して頂点に立った。女子1部は宜野湾ガスクラブが21-17でレキオクラブに勝利して連覇を達成した。男子2部

は那覇西クラブが優勝した。マスターズ50sの部は沖繩教員が制した。男女1部の上位チームは九州一般選手権(5月、大分)に出場する。

宜野湾ガス(女)連覇

男子
▽1部決勝
興南BIC 36
丸松建設 18
延長戦 12
▽2部決勝
那覇西クラブ 25
エレンクラブ 11
ツツ 18
女子
▽1部決勝
宜野湾ガス 21
レキオクラブ 17
10-11 9-17
マスターズ50sの部決勝
▽決勝
沖繩教員 18
コザクラブ 8
10-4 12-12
プロB

下地の連続4得点で決着



延長までもつれ込むシー BICが5連覇を果たしたが、最後は選手の勝ちたいという気持ちで勝利を手にした。西原監督は「うまく」という気持ちで勝利を手にした。連続4得点で突き放し、興南 いかない時間が多かった。できた」と苦しみながらつ

かんだ栄光を喜んだ。前半序盤から丸松建設に一挙10得点を許し、追いかける展開が続いた。相手エースの神里昂大の守備間をすり抜ける攻撃に手を焼いた。後半に入るとBICはデ



イフエンスの幅を狭める横一線の守備陣形に切り替え、神里を封じることが成功。宮城護、名倉光輝を中心に速攻による連続得点で勝ち越した。後半残り10秒で同点とされても、西原監督は「選手は決して折れることはなかった」と振り返る。強豪校出身の経験豊富なメンバーが多いBICは、緊張感のある場面を楽しんでいたという。

終盤速攻で突き放す 宜野湾ガス

○：後半17分を過ぎて男子1部決勝、宜野湾ガスが1点を争う展開となった女 最終盤、賞賞和子の連続



宜野湾ガスレキオクラブ 前半、守備を突破しシュートを決める賞賞和子の賞賞和子(大城直也撮影)

シユートを皮切りに5点連取でレキオクラブを振り切り、2連覇を達成した。昨年決勝と同一カード。堅守速攻が持ち味の宜野湾ガスだが、相手の素早い攻守にリズムがつかれない。気迫のこもったレキオのプレーに「飲まれてしまった」と賞賞は反省を口にした。後半はパスカットから速攻につなげるなど、徐々に形を取り戻す。後半19分に並ばれても「焦らずにパスをつないでいこう」と賞賞が連続得点し、そのまま突き放した。選手兼監督の仲宗根由香利は「コロナ禍で集まれる時間は限られたが、声を掛け合って士気を高めてきた。チームでつかんだ優勝だ」と感慨深く勝利をかみしめた。(野添侑麻)



5連覇を達成した興南BICのメンバー(野添侑麻撮影) 連覇を達成した宜野湾ガス(大城直也撮影)